【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第５部門第２区分
【発行日】令和6年7月8日(2024.7.8)

【国際公開番号】WO2023/074647
【出願番号】特願2023-556443(P2023-556443)
【国際特許分類】
Ｆ１６Ｆ　7/06(2006.01)
【ＦＩ】
Ｆ１６Ｆ　7/06

【手続補正書】
【提出日】令和5年2月22日(2023.2.22)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
ハウジングと、
前記ハウジングに回転可能に挿入されるロータと、
前記ハウジングおよび前記ロータの間に設けられる軟質部材と、を備え、
前記ハウジングは、内側に筒状に形成された内筒部を有し、
前記ロータは、前記内筒部に対向して相対回転可能な外筒部を有し、
前記内筒部および前記外筒部の一方に溝部が形成され、
前記溝部は、軸方向に直交する直交方向に交差する溝壁部を有し、
前記軟質部材は、前記溝部に配置され、前記内筒部および前記外筒部の相対回転時に前記溝壁部に押し当てられつつ前記内筒部および前記外筒部の他方に摺動し、
前記溝壁部は、前記軸方向にも交差することを特徴とするダンパー装置。
【請求項２】
ハウジングと、
前記ハウジングに回転可能に挿入されるロータと、
前記ハウジングおよび前記ロータの間に設けられる軟質部材と、を備え、
前記ハウジングは、内側に筒状に形成された内筒部を有し、
前記ロータは、前記内筒部に対向して相対回転可能な外筒部を有し、
前記内筒部および前記外筒部の一方に溝部が形成され、
前記溝部は、軸方向に直交する直交方向に交差する溝壁部を有し、
前記軟質部材は、前記溝部に配置され、前記内筒部および前記外筒部の相対回転時に前記溝壁部に押し当てられつつ前記内筒部および前記外筒部の他方に摺動し、
前記軟質部材は、環状に形成され、
前記軟質部材は、前記内筒部および前記外筒部の相対回転時に前記溝壁部に押し当てられ、前記直交方向に交差する方向に延在する傾斜部を有することを特徴とするダンパー装置。
【請求項３】
前記溝部は、
前記直交方向に交差する方向に延在する第１溝部と、
前記内筒部または前記外筒部の周方向に沿って延在する第２溝部と、を有することを特徴とする請求項１または２に記載のダンパー装置。
【請求項４】

（削除）